

【上川淵の1コマ】 地区を代表する景観構成要素



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出

ふるさと自慢〔住む人の声〕

風の軸

田園を渡る爽やかな風
 広瀬川からの川風

赤城山遠望軸

田園と集落、市街地沿いに眺める四季折々の姿

街

広瀬大通りを軸とした街並み
 養蚕農家と檜ぐね(上佐鳥町)

人

防犯(安全・安心)に対する意識が高い



地区の課題

景観にかかる課題1

西側の市街化調整区域は、平坦で広がりのある水田地帯の中に十団の農村集落が浮島のように点在する田園風景がみられる地区だが、一部に建替えや世帯分離などによる田園・屋敷林などの緑の減少が進んでおり、水田地帯にぼっかり浮かぶ農村集落の眺めの喪失がみられる。

景観にかかる課題2

市街化区域は、ほとんど区画整理による基盤整備がなされているが、市街地の密集化、歴史的資産の喪失がみられる。

体制にかかる課題1

地域住民による食育、休耕田の利活用及び美田への取り組みなどが行われており、市内で同様の問題を抱える地区においても広がっていくような、先進的な取り組みとして支援していく必要がある。



人の動き

旧村と住宅団地の地域活動を通じた交流

拓く

美田への挑戦

香り

美田を渡る自然芳香



体感・体験図〔住む人の目〕

→ 地区の方針

景観形成方針 1

美田と称される広がりのある田園風景、水田地帯にばかり浮かぶ農村集落の眺めを守る。

景観形成方針 2

農村集落を構成する、寺社、屋敷林、農家の建物様式、敷地割りなど、農村集落を一団の風景として統一感を与えている要素を一体的に守る。

景観形成方針 3

(主)高崎駒形線、(主)前橋玉村線、(主)前橋玉村バイパスなどの道路の沿道は、田園風景の広がりを阻害しないよう、建物や広告看板類の誘導に取り組む。

景観形成方針 4

上佐鳥町や後閑町にある、養蚕家屋・蔵と檜ぐねを地区の景観資源として守る。

景観形成方針 5

葦川沿いの崖斜面と緑を地形の変化として守る。

景観形成方針 6

広瀬大通りを軸として街並みづくりに取り組む。また、通り沿いにある古墳群も地区の歴史を伝える資源、緑を増やす要素として取り込んでいく。

景観形成方針 7

田園部や農村集落、市街地沿いから眺める赤城山の四季折々の姿を伝え守る。

体制整備方針 1

景観づくりに寄与する地域住民活動に対する柔軟な支援体制を整える。